

井神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

本神社の創建年月日は不詳ではあるが、延喜式上に備中国堰溝料1万7千束とあり、高梁川流域では最大規模の井堰を守護される井神社は、当時既に存在していた。

安徳天皇寿永元年（1182）に備中国妹尾郷（岡山市妹尾）の武将、妹尾兼康が自分の領地に水を引くために、総社市井尻野六本柳にあった高梁川の堰を200メートルほど上流の湛井（たたい）に移し、樋門を設け、妹尾までの農業用水路を構築した。

現在は湛井12カ郷用水の名前で親しまれており、総社から児島湖に至る約3800ヘクタールの水田を灌漑する西日本有数の農業用水路である。

難工事であった堰と用水路の完成に感謝して、妹尾兼康は井神社の社地を湛井堰（たたいせき）の近くに移し、新しい社殿を建立し、神社の祭典、維持、運営について詳細な掟を残した。

これにより、井神社の氏子は、地元氏子の外に、農業用水を利用する氏子「水氏子」で構成されている。妹尾兼康の偉業を讃え、恩恵に感謝して、井神社、兼康神社として合わせ祀るようになった。

このような経緯により、毎年6月1日には水氏子関係者による「初堰祭」を斎行し、当年の豊かな水の恵み、五穀豊穰、家内安全を祈願した後に高梁川から取水を始める。

前の写真へ次

基本情報

神社コード	10055
神社名	井神社（イジンジャ）
通称名	兼康神社
旧社格	村社
鎮座地	〒719-1154 総社市井尻野928
電話番号	
FAX番号	
駐車場	有 2台
御祭神	罔象女神, 水分神, 妹尾兼康公
御神徳	治水
主な祭典	5月3日：春祭り 6月1日：初堰祭 10月第3日曜日：秋季例大祭
宮司宅電話	086-239-9983

URL

e-mail

特記事項 湛井12カ郷用水組合による初堰祭。

交通アクセス

J R 伯備線、吉備線総社駅から北へ 2、5 km

神事一覧

若宮祭	祭礼日時：6月1日10時	文化財指定： 無	神事詳細
年占い	祭礼日時：6月1日10時	文化財指定： 無	神事詳細

[検索画面に戻る](#)

